

資料提供

つくば霞ヶ浦りんりんロードの利活用の推進に向けて

平成30年2月28日
茨城県

つくば霞ヶ浦りんりんロードを活用した地方創生の取組は、これまで水郷筑波サイクリング環境整備総合計画に基づき、県及び沿線14市町村が連携して推進してきたところであるが、JR土浦駅ビルに整備を進めている「りんりんスクエア土浦」の3月の開業を契機に、この取組を一層加速化させていくため、県、市町村及び国の関係機関に加え、新たに地域の民間企業なども参画する「(仮称)つくば霞ヶ浦りんりんロード利活用推進協議会」を立ち上げ、官民一体となって日本一のサイクリングエリアの形成をめざしていくこととした。

なお、本年1月16日、県、市町村、国関係機関等をメンバーとする協議会設立準備会を開催し以下について確認をした。

○サイクリングロード整備について

つくば霞ヶ浦りんりんロードのハード整備にあたっては、「水郷筑波サイクリング環境整備事業自転車走行環境整備ガイドライン(2016年10月策定)」に基づき、全線に矢羽根等のコース案内や注意喚起のための路面標示を2020年度までに設置予定。

未舗装区間については、2018年度までに整備する予定。

《お問い合わせ先》

- つくば霞ヶ浦りんりんロード全般
企画部地域計画課：中村，飯野
TEL 029-301-2735
- サイクリングロード整備
土木部道路建設課：見澤，小澤
TEL 029-301-4431